

リハビリテーションカレッジ島根  
学校関係者評価委員会

令和4年5月26日(木)  
リハビリテーションカレッジ島根 会議室

## リハビリテーションカレッジ島根 学校関係者評価委員会

日 時：令和4年5月26日(木) 18:40～19:20

場 所：リハビリテーションカレッジ島根 会議室

出席者：委員 岡田久樹、土田好明、山田洋夫、泉川晋作

学校 学校長、教務部長、教務課長兼作業療法学科長、理学療法学科長、言語聴覚学科長

[自己評価結果について]

- ・令和4年1月に本校教職員を対象に自己点検・自己評価をアンケート形式で実施した。
- ・質問は123項目あり、各質問に対し、5 充分 → 4 → 3 普通 → 2 → 1 不十分の5段階で回答。
- ・回答者は25名であり、集計結果をまとめた(4ページ～)。
- ・平均を算出し、標準となる3を下回った項目について以下にまとめる。

○標準を下回った項目

**項目 14 (平均 1.6)：各学年の学生人数は法律の基準に従い、定数を確保されている。**

→現在の学生数は定員を下回っている割っている。

[改善方策]

- ・国家試験合格率100%の達成による学校の魅力向上。
- ・学科の魅力化。
- ・沖縄など県外からの学生や中国など海外からの学生確保。

委員より：3学科揃っての国家試験合格率100%をぜひ達成してほしい。

**項目 15 (平均 2.9)：各教員の授業時間数が法律に従い、かつ過剰にならないよう調整されている。**

→法で定められた授業時間の目安である理学療法学科・作業療法学科学科教員10時間/週、言語聴覚学科教員15時間/週は概ね遵守されているが、教員間に時間数の差が生じている。

[改善方策]

- ・役職や授業以外の職務を考慮した上で、各教員の授業時間数の適正化を図る。

**項目 45 (平均 2.8)：卒業後、資格未取得者の援助、指導が行われている。**

→国家試験不合格者のフォローがこれまでは十分ではなかった。

[改善方策]

- ・既卒者と学校との関係が切れないよう密に連絡を取り、充実した学習支援を実施する。

委員より：資格を取得するための学校であり、卒業後もしっかり支援をしていただきたい。

**項目 58 (平均 2.8)：臨床実習前、定期的に健康診断を実施し、必要に応じて再検査等の指導を行っている。**

→現在は実習前に対象学生全員の健康診断は実施していない。

[改善方策]

- ・学生全員の健康診断は必要ないと考えるが、実習受入施設から要請があれば実施する。

**項目 78 (平均 2.7)：研修計画が年間計画に位置づけられ、研修の具体的な内容・方法等が明確にされて組織的な研修が行われている。**

→研修会への参加は内規で定めているが、年間計画は立てていない。

[改善方策]

- ・参加を希望する学会や研修会を年度始めに教員から聴取し、教員が平等に研修会に参加できるように調整する。

委員より：休退学者防止の観点からも教員のスキルアップは必要であり、しっかりと研修の機会を作ってほしい。（項目 78、79、80、81 に対して）

**項目 79（平均 2.3）：公開授業及び授業研究が組織的・計画的に行われ、関係教員の全員参加による研修体制が定着している。**

→公開授業や授業研究は実施していない。

[改善方策]

- ・公開授業および授業研究を今年度中に計画する。

**項目 80（平均 2.7）：学校全体で行われる各種研修会には積極的な姿勢で参加し、その成長が教育活動に反映されている。**

→学内研修会の実施はこれまで不十分であった。

[改善方策]

- ・令和 4 年 3 月と 4 月に各 1 回、合計 2 回学内で教員研修を実施した。今後も定期的に実施する予定。

**項目 81（平均 2.4）：初任者に対する研修が組織的・計画的に行われ、教員相互の支援体制が構築されている。**

→これまで初任者に対する研修、教育は各学科に委ねられていた。

[改善方策]

- ・今後は各学科で研修を行う前に全体での研修を実施する。

**項目 85（平均 2.5）：求める学生像が明確であり、それにふさわしい学生募集方法、入学選抜の時期、会場、回数になっている。**

**項目 86（平均 2.8）：入学者選抜の方法が志願者の多面的な学力、能力、意欲、人物を判定するのに適しており、客観的かつ公正である。**

**項目 90（平均 2.8）：合否判定にあたっては、判定基準が明確であり、総合的な観点から客観的かつ公正に判定が行われている。**

→近年、学力の低い高校生、欠席が多い高校生、日本語能力が不十分な留学生の受験も増えており、判断基準があいまいになっている状況が考えられる。

[改善方策]

- ・学校経営面も考慮しながら、合格最低ラインを明確にしておく必要がある。

**項目 92（平均 2.0）：各学科への志願状況は満足すべき状況である。**

**項目 93（平均 1.8）：各学科の定員充足率は満足すべき状況である。**

→各学科とも定員を充足しておらず、現在の全学生数は満足できる状況ではない。

[改善方策]

- ・項目 14 での対策を実施し、学生数の増加を図る。
- ・休学者、退学者の防止を図る。

**項目 94 (平均 2.4) : 各学科の中途退学者数は極めて少ない状況である。**

**項目 95 (平均 2.6) : 各学科の進級状況は満足すべきであり、留年者数は極めて少ない状況である。**

→令和 3 年度は原級留置者、退学者が前年に比べて増加した。

[改善方策]

- ・ 教員の学級運営への意識向上・スキル向上に取り組む。
- ・ 学生の居場所づくりに取り組み、居心地の良い学校にする。

委員より：卒業率を高めるよう、様々な学生支援を実施していただきたい。

**項目 107 (平均 2.4) : 学生用の食堂メニューは整備されており、適切な価格とバラエティにとんだメニューでよく利用される。**

**項目 108 (平均 2.2) : 学生食堂メニューの内容・意見などを定期的にアンケートで情報収集して、メニュー内容の変更等に反映されている。**

→以前に比べ、メニューや味に対する評価は高いが、学生にとって安価とは言えない。

[改善方策]

- ・ 本年 4 月から委託業者が変わり、メニューに対するアンケートの実施、食堂の名称の公募など、改善への取り組みが始まっている。
- ・ 食材費の高騰が続いており、値下げは厳しい状況であるが、委託業者には努力してもらっている。

リハビリテーションカレッジ島根 令和3年度 自己評価まとめ

5充分 → 4 → 3普通 → 2 → 1不十分

領域	番号	評価項目	平均	5	4	3	2	1	
I 教育目標 1. 学園理念 2. 教育方針 3. 教育目標 4. 教育計画	1	学校理念は時代の変化に対して有効・適切ある。	3.1	0	3	18	4	0	
	2	教育目標や教育計画は建学の精神や教育方針に基づき、社会的要請や学生の実態に応じたものになっている。	3.0	0	4	14	7	0	
	3	教育目標や教育計画はその達成の程度を評価するシステムが確立し、実施している。	3.0	0	4	14	6	1	
II 教育活動 1. 教育課程の編成及び実施  (1)教育課程の編成	4	教育課程の編成にあたって、基本的な方針が示されている。	3.3	0	5	19	1	0	
	5	教育課程の編成に関して、法令が遵守され、教育目標や教育計画が反映されている。	3.4	1	6	16	2	0	
	6	教育課程の編成に教員の意見が反映されている。	3.3	1	5	15	4	0	
	7	教育課程の編成に当たって、単位認定科目が検討されている。	3.3	0	5	18	2	0	
	8	教育課程の編成にあたって、社会的情勢の変化や就職先の要望に対応している。	3.0	0	2	20	2	1	
	9	教育課程の編成にあたって、法律に準じて区分され、各分野に必要な科目検討が行われている。	3.3	0	5	18	2	0	
	10	教育課程が大学併修科目に対応している。	3.0	1	2	18	2	1	
	(2)教育課程の実施	11	年間の授業時間数が十分に確保されている。	3.8	4	8	13	0	0
		12	授業時間数(単位)数が法律に従い、各学年、各期に偏りがないように調整されている。	3.6	3	6	15	1	0
		13	年間の行事が計画どおり実施されている。	3.6	3	6	16	0	0
14		各学年の学生人数は法律の基準に従い、定数を確保されている。	1.6	0	0	3	8	14	
15		各教員の授業時間数が法律に従い、かつ過剰にならないよう調整されている。	2.9	0	3	16	4	2	
16		学内研修(オリエンテーション、入学式、卒業式)が計画通り実施されている。	3.7	3	8	13	1	0	
17		前期・後期試験期間が十分に確保され、計画通り実施されている。	3.5	2	5	17	1	0	

(3)シラバス	18	シラバスに全科目掲載されているか。	4.0	7	7	11	0	0
	19	シラバスの作成に当たって、内容等が学科内、教員間で十分検討されているか。	2.9	0	3	15	5	2
	20	学生が授業を受けるのに必要な内容(授業形式、開設時期、授業目標、授業内容、成績評価、テキスト等)が記載されているか。	3.4	2	7	13	2	0
	21	シラバスを学生、教員に配布され、内容について説明を十分おこなっているか。	3.4	2	4	17	2	0
	22	シラバスに記載されている内容が適切に実施されているか。	3.0	0	3	17	5	0
(4)学習指導	23	教員は学生に理解できる授業を目指し、授業の向上に努めるとともに専門性の高い教育を実施している。	3.4	1	7	15	2	0
	24	学習の遅れがちな学生や欠席(欠課)者を対象に特別指導が実施されている。	3.3	2	6	13	3	1
	25	学生に対する各種ガイダンスが充実している。	3.3	1	7	12	4	1
	26	臨床実習施設は法律に従い、十分に確保されている。	3.6	3	6	15	1	0
	27	臨床実習計画に従い実習が実施されている。	3.8	5	5	15	0	0
	28	見学実習が計画的に実施されている。	3.3	0	6	17	1	1
	29	高卒者の基礎学力向上対策が計画・実施されている。	3.0	1	2	17	4	1
	30	演習・実技が計画的に実施されている。	3.6	3	7	14	1	0
	31	大学併修科目に対して充分指導がされている。	2.8	0	3	15	3	4
(5)成績・評価	32	成績評価の基準が明確で、事前に学生に示されており、総合的な観点から客観的に評定されている。	3.3	1	5	16	2	1
	33	学生の出席状況の管理が適正に行われている。	3.7	3	10	10	2	0
	34	出席状況を各担任が把握し、欠席(欠課・遅刻・早退)が認められる学生に対して指導を充分行い、また保護者と連絡を取って指導している。	3.4	1	8	13	3	0
	35	成績の管理が適切に実施されている。	3.4	1	6	17	1	0
	36	臨床実習前、卒業前には計画的に試験が実施され、状況に応じて指導している。	3.5	1	9	14	1	0
	37	臨床実習施設との連絡、訪問、指導が実施されている。	3.8	5	8	11	1	0

	38	臨床実習後の評価表が管理・保管・整理されている。	3.7	4	7	13	1	0
(6)教科書・教材・施設設備	39	教育機器、機材が法律に従い整備されており、適切に活用されている。	3.2	2	3	16	3	1
	40	教育機器、機材の点検・保守が適切に行われている。	3.0	1	4	12	6	2
	41	教科書、テキスト類の選定は適切に行われており、学生が理解しやすく利用しやすいものが選定されている。	3.3	1	4	18	2	0
	42	教科書以外に必要な資料が配布されている。	3.7	3	8	13	1	0
	43	授業に必要な視覚的教材などを利用している。	3.7	3	9	12	1	0
(7)資格取得と検定対策指導	44	国家試験のための対策が計画的・組織的に行われており、成果を上げている。	3.5	3	8	11	2	1
	45	卒業後、資格未取得者の援助、指導が行われている。	2.8	1	3	10	9	2
	46	模擬試験の作成・実施状況に対して組織的に協力しているか。	3.5	1	8	14	2	0
(8)進路(就職)指導	47	就職のための指導、模擬面接、個人相談が実施されているか。	3.5	2	8	13	1	1
	48	就職のための各種資料、求人票が整理、管理され、学生が閲覧できる状況になっている。	3.5	3	8	11	2	1
	49	求人に対する問い合わせに適切に対応し、病院・施設等の就職担当者と連携を図っている。	3.5	2	7	14	1	1
(9)生活指導	50	学生の授業規律をはじめ、学内での基本的な生活習慣やマナー、しつけの教育が行われており成果を上げている。	3.0	1	3	14	5	2
	51	学生の悩みや相談を受ける体制が整っており、相談する場所の確保など、プライバシーに配慮できて指導されている。	3.3	2	6	13	3	1
	52	非行・事故の未然防止や怠学傾向のある学生の早期発見体制が整っており、保護者と密接な連携をとるなど、きめ細やかな指導が行われている。	3.1	1	5	14	2	3
	54	学生の健康管理状況の把握、学業不振、問題行動などに対して教員間で情報交換し、適切に指導されている。	3.2	2	4	14	4	1
	55	アルバイトの実態状況を把握し、学業との両立を図るための適切な指導、助言、保護者との連携が適切に実施されている。	3.0	2	1	16	4	1
(10)健康・安全指導	56	学校法に従い、学生の健康診断を定期的実施している。	4.2	9	7	9	0	0
	57	健康診断にて再検査が必要な学生への情報提供、再検査への実施を適切に行っている。	3.8	6	5	13	1	0
	58	臨床実習前、定期的に健康診断を実施し、必要に応じて再検査等の指導を行っている。	2.8	0	1	17	5	2

	59	避難経路の情報提供を定期的を実施し、防災・震災訓練を実施している。	3.3	1	6	14	3	1
	60	各教室等の防災・管理者を作成して、教員が定期的に管理している。	3.4	3	3	17	1	1
	61	学内及び通学中の事故等に対して適切に対応し、事故報告書を作成している。	3.1	1	3	18	1	1
	62	損害賠償責任保険に加入し、実習中の事故等に適切に対応している。	4.0	7	7	11	0	0
	63	突発的な重篤な病気の発症、事故後に医師の診断を受けた場合は、診断書の提出を指導し学校責任者に報告している。	3.7	4	5	16	0	0
2 教員の状況 (1)教員の状況	64	常勤教員の年齢、性別、経験、専門性(所有資格)、指導力はバランスのとれた構成になっている。	3.1	1	2	18	3	1
	65	教員は職務の重要性を自覚し、研鑽に努めるとともに、意欲的・積極的に職務を果たそうと努力している。	3.4	2	6	15	1	1
	66	教員は望ましい人間関係を醸成し学生の人格を尊重して保護者や社会の信頼と期待に応える努力をしている。	3.3	1	4	18	1	1
	67	教員は学校の理念や教育方針を体し、協働体制と職場のモラルの高揚に努め、経営参加意識をもって学校の発展に寄与しようと努めている。	3.3	1	5	17	2	0
(2)常勤と非常勤教員の配置状況	68	常勤・非常勤講師の構成比率は適切である。	3.0	1	4	13	5	2
	69	非常勤講師の科目選択は専門性を配慮した構成になっている。	3.6	3	6	15	1	0
(3)教員組織・運営	70	学校・学科が組織として教育活動を遂行しており、教育内容や教育方法の質の向上・改善に結びついている。	3.0	1	2	18	2	1
	71	校務文書が組織として位置づけられ、全教員が職務を分担している。	3.1	1	3	15	6	0
	72	諸会議が学校全体、各科ごとに計画的、効率的に行われ、報告・連絡・相談・調整がスムーズである。	3.0	1	4	13	5	2
	73	各種委員会が設置され、学校運営が能率的に行われるとともに、学校間の連携、共通理解に役立っている。	3.1	1	4	16	2	2
	74	諸会議の記録、管理・保管が徹底している。	3.6	3	6	15	1	0
	75	臨床実習に必要な指導者との連携を図る会議を定期的実施され、臨床実習受入に関して調節されている。	3.5	5	4	12	3	1
	76	教務部長・学科長は校務運営のかなめとして教員に適切な指導助言をするなど、校内の潤滑油として機能している。	3.0	1	3	15	5	1
	77	校務運営に必要な諸表簿の一覧と保存期間が定められており、文書管理・保存・改廃が適切に行われている。	3.7	3	7	15	0	0
(4)教員研修	78	研修課程が年間計画に位置づけられ、研修の具体的な内容・方法等が明確にされて組織的な研修が行われている。	2.7	0	3	13	5	4



	79	公開授業及び授業研究が組織的・計画的に行われ、関係教員の全員参加による研修体制が定着している。	2.3	0	1	12	4	8
	80	学校全体で行われる各種研修会には積極的な姿勢で参加し、その成長が教育活動に反映されている	2.7	0	2	15	4	4
	81	初任者に対する研修が組織的・計画的に行われ、教員相互の支援体制が構築されている。	2.4	0	2	11	5	7
	82	学外における研修会、研究会、学会等への参加やその機会が保証されており、その成果がその後の教育活動に反映されている。	3.4	2	4	17	2	0
	83	大学院の教育への参加やその機会が保証されており、その成果がその後の研究・教育活動に反映されている。	3.2	2	3	15	5	0
	84	研究・研修実践の経過・課題が研究紀要等にまとめられ、その後の研究活動の深化に役立っている。	3.0	0	3	16	5	1
3 入学選抜 (1)時期・会場・回数 (2)方法・システム	85	求める学生像が明確であり、それにふさわしい学生募集方法、入学選抜の時期、会場、回数になっている。	2.5	1	1	11	7	5
	86	入学者選抜の方法が志願者の多面的な学力、能力、意欲人物を判定するのに適しており、客観的かつ公正である。	2.8	1	0	17	5	2
	87	入学者の要望に応える資料の配付、各学校等との連携、情報公開(ホームページ、オープンキャンパスなどを積極的に行い入学選抜試験に反映されている。	3.0	2	2	17	1	2
	88	入学者選抜学力検査問題の科目、内容、形式、実施方法が客観性、妥当性、信頼性を満たした公正な委員会にて協議・作成・管理されている。	3.0	1	2	15	6	1
	89	入学選抜試験の実施に際して、管理者、教員、事務職員が積極的に参加し、協力している。	3.0	1	2	16	5	1
	90	合否判定にあたっては、判定基準が明確であり、総合的な観点から客観的かつ公正に判定が行われている。	2.8	1	1	13	8	2
	91	判定後の受験者への結果報告は、書式、時期、書類の作成が適切にされている。	3.5	5	2	16	1	1
4 学生の状況 (1)入学生の状況 (2)在学生の状況 (3)進級・退学・留年の状況	92	各学科への志願状況は満足すべき状況である。	2.0	0	0	9	5	11
	93	各学科の定員充足率は満足すべき状況である。	1.8	0	0	4	9	12
	94	各学科の中途退学者数は極めて少ない状況である。	2.4	0	1	11	7	6
	95	各学科の進級状況は満足すべきであり、留年者数は極めて少ない状況である。	2.6	0	1	14	7	3
	96	学外実習での評定は客観的、かつ妥当性があり、資格取得に必要な判定がなされ、留年者数が極めて少ない状況である。	3.0	1	1	16	7	0
(4)学校行事 (5)校友会・クラブ活動 (6)卒業生の状	97	学校行事は年間計画に位置づけられ、学校全体、他校、他科との調和がとれている。	3.3	1	4	19	1	0
	98	学生が主体的に行う行事や活動が保証され、学校全体の教育活動に位置づけられている。	3.2	1	3	19	1	1

	99	クラブ活動やボランティア活動が保証され、自主的な活動が活発に行われている。	3.5	3	6	14	2	0
	100	卒業生の就職(進学)率は満足すべき状況であり、国家試験の合格率や各種資格取得状況が極めて高い。	3.0	1	2	17	3	2
	101	卒業後の就職状況、変更状況等が把握できており、変更の際しても情報提供されている。	3.0	1	2	15	6	1
5 社会人教育 (生涯教育)	102	学校は地域社会、関係団体(県士会、研究会)と密接に連携し、地域に開かれた公開講座や関連施設・設備を開放したり、出前授業等による人材派遣を行うなどして地域に貢献している。	4.1	8	7	10	0	0
III 学生サービス 福利厚生 1. 学生支援制度	103	各種奨学金制度が整備され、学生・保護者に充分周知されている。	3.7	5	5	14	1	0
	104	新規各種奨学金制度の情報を適正に情報提供され、かつ支援希望者に対して助言・指導を与える。	3.4	2	4	18	1	0
	105	各種奨学金制度利用に際しては、適切かつ公正に評価され、手続き業務の助言・指導を充分与えている。	3.5	2	6	16	1	0
2. 学生寮・食堂 3. カウンセリング	106	学校敷地内に学生の休憩場所や関連設備が整備されており、自動販売機も設置されてよく利用されている。	3.9	7	5	13	0	0
	107	学生用の食堂メニューは整備されており、適切な価格とバラエティにとんだメニューでよく利用される。	2.4	1	2	7	8	7
	108	学生食堂メニューの内容・意見などを定期的にアンケートで情報収集して、メニュー内容の変更等に反映されている。	2.2	1	1	7	8	7
	109	学生寮が整備されている。また近隣の学生宿泊施設提供業者と連携し、学生の利用に便宜が図られている。	3.0	0	0	22	3	0
	110	学生の悩みや相談を受ける体制が整っており、相談する場所の確保されている。	3.3	1	7	14	2	1
	111	各証明書(成績・在学証明書、駐輪・駐車場利用申請、定期申請書類)に対して適切に配布され、各証明書の発行に際しては記録を徹底している。	3.9	6	7	12	0	0
IV 管理・運営・財政 1. 管理運営規則 (1) 就業規則 (2) 人事労務・人事考課 (3) 防災・避難計画	112	服務規程は教職員の実態や要望を取り入れ、適切に運用されている。	3.2	1	2	20	1	1
	113	教職員の勤務時間や出勤・休暇・出張等の労務管理が適切に行われている。	3.3	2	3	18	2	0
	114	学校の職階制は業務遂行上円滑に採用しており、教職員の勤労意欲向上により影響を与えている。	3.0	1	1	18	3	2
	115	多面的評価による職能考課や学生アンケートの結果導入は人事考課に適切に反映されており、客観的かつ公正で、教職員の勤労意欲向上により影響を与えている。	3.0	1	2	17	2	3
2. 事務組織と業務 (1) 経理・財務・管財 (2) 総合企画(広報) (3) 就職 3. 財政状況 4. 情報管理・条項公開・危機管理	116	学校の組織・機構は教育法人としての教育活動を展開するにあたり、効率的かつ機能している。	3.0	1	1	17	5	1
	117	学校は積極的に広報活動(オープンキャンパス・高校訪問等)を展開し、知名度、信頼度の高揚に努め成果を上げている。	3.0	1	0	20	4	0
	118	学校が保有する個人情報については、その保存場所、保存方法、管理責任者が明確にされており、各種データの管理は組織的に一元化されている。	3.2	1	2	20	1	1

119	学校が保有する個人情報の修正・変更に際しては適切に処理されている。	3.3	1	3	20	0	1
120	学校は積極的に情報公開を行っているが、開示請求のあった事案については、公開すべき内容・方法について審議・決定する審議機関を設置し対応している。	3.1	1	2	18	3	1
121	各申請・依頼に関する公文書の発行が適切に行われており、また発送先記録・写しなど管理されている。	3.7	5	3	17	0	0
122	様々な問題・事故発生に対する未然防止策、発生時の即応体制、事故処理体制など危機管理体制が確立しており、外部に対する窓口が一元化されて組織として対応が可能である。	3.0	1	1	18	4	1
123	様々な問題・事故発生に対する未然防止策、発生時の即応体制、事故処理体制などに対する教職員の意識向上に努めている。	3.2	1	1	22	1	0